

予 算 要 求 資 料

令和4年度6月補正予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 観光誘客拡大緊急対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111(内3075)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 50,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	50,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

長引く、新型コロナウイルス感染症の影響により、県内の観光産業は、これまで経験したことのない厳しい状況におかれている。県では県民を対象とした「ほっと一息、ぎふの旅」キャンペーン等による需要喚起等に取り組んでいるが、さらなる支援が必要な状況である。

このような状況を踏まえ、地域のニーズに合わせた需要喚起のため、地域の誘客に対する取組みへの支援を、(一社)岐阜県観光連盟を通じて実施する。

(2) 事業内容

・観光誘客拡大プロモーション等支援事業 (50,000千円)

地域の観光協会等が各地域の露出拡大を目指して実施する誘客プロモーションやPR等を支援する

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域にまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	50,000	観光誘客拡大プロモーション等支援事業
合計	50,000	

決定額の考え方

具体的なニーズが不明瞭であることから、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 国・他県の状況

R2年度 国GoToトラベル事業を実施。各県上乘せ補助等を実施。

R3年度 地域観光事業支援(国補助)を実施。

R4年度 地域観光事業支援の延長及びGoToトラベル事業実施予定。

(3) 後年度の財政負担

緊急的なコロナ対策であることから、後年度の財政負担はない。

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県内における観光事業の健全な発展と振興を担う県広域で活動する唯一の団体である岐阜県観光連盟が実施主体となって実施する事業

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	観光誘客拡大緊急対策事業費補助金
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県観光連盟 （理由）県内最大の民間観光団体であり、県と連携し、観光産業の発展に努めている。
補助事業の概要	（目的）地域のニーズに合わせた需要喚起のため、地域の誘客に対する取組みを支援する。 （内容）地域の観光協会等が各地域の露出拡大を目指して実施する誘客プロモーションやPR等の取組みの支援
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）定率 10/10 （理由）岐阜県全域の国内誘客の事業のため県負担
補助効果	岐阜県観光消費額の増大
終期の設定	終期4年度 （理由）コロナ禍での緊急的な支援事業

(事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
新型コロナウイルスにより落ち込んだ観光産業の速やかな回復を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	
					達成率	
①観光消費額	2,933億円 (R1)				3,300億円 (R7)	
②観光入込客数 (実数)	4,800万人 (R1)				4,900万人 (R7)	

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	/	/	/

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う県内観光事業者支援である。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 2	地域のニーズに沿った支援を実施している
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	効率的に事業を実施できるスキームとしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県では県民を対象とした「ほっと一息、ぎふの旅」キャンペーン等による需要喚起等に取り組んでいるが、さらなる支援が必要な状況である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地域のニーズに合わせた需要喚起のため、地域の誘客に対する取組みに対する支援を実施する。
